

しめやかに
社 葬

社業の発展を誓う



創業者 齋藤和四郎会長逝去 享年82歳

YAWARAGI NEWS



わわらぎ

発行所
齋藤工務店
山形市大字陣場町26
TEL 0236(81)7558
FAX 0236(81)7559
発行責任者
齋藤恵美子

弊社が代表取締役会長を務める齋藤和四郎氏は、創業以来、社業の発展を誓って、誠実に事業を進めてこられた。御葬儀に御出席いただき、厚く御礼を申し上げます。生前には、皆様方から多大なご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。ご逝去を悼み、御冥福を祈ります。齋藤和四郎氏のご逝去を悼み、御冥福を祈ります。生前には、皆様方から多大なご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。ご逝去を悼み、御冥福を祈ります。

その後、健康を回復し、大変元気になりました。趣味は、読書、音楽、ゴルフです。毎朝、早朝散歩を欠かさないで、体力を維持しておりました。入院生活は、自分なりに色々と工夫を凝らして、過ごしておりました。九月三日に永眠いたしました。享年82歳。ご逝去を悼み、御冥福を祈ります。生前には、皆様方から多大なご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。ご逝去を悼み、御冥福を祈ります。



社長 齋藤和明

この日は、幸いとして、皆様から多大なご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。ご逝去を悼み、御冥福を祈ります。生前には、皆様方から多大なご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。ご逝去を悼み、御冥福を祈ります。

山形市城西町の霞政公民館の通り沿いに我が家があります。浴室を新しくして二階にも部屋を足そうかと思いましたが、有藤工務店の皆様のおかげで、思い通りに完成しました。おかげで、快適な生活を送ることができています。有藤工務店の皆様、本当にありがとうございました。



快適!! F.P.の家 高橋藤男様

お客様より
我が社自慢の施工例

家を建てたばかりで、まだ馴染みません。有藤工務店の皆様のおかげで、快適な生活を送ることができています。おかげで、快適な生活を送ることができています。有藤工務店の皆様、本当にありがとうございました。

在りし日の斎藤会長 生涯職人を貫く!

趣味も広く・盆栽・木彫・書道
そして篆刻・俳画・古書画

職人

木彫に精魂

斎藤和四郎氏

(株)斎藤工務店代表取締役会長

斎藤和四郎氏(後斎藤工務店代表取締役会長)は、一昨年前まで同社の社長であったが、長男の和明氏に代表取締役社長の座をパトナツチ、現在会長となっているが、趣味の盆栽、彫刻に余念なく、昨年体調を崩しただけで八十歳になろうとは思えない元気さである。同氏は、明治四十四年山形市陣場(旧東村山郡金井村)に、廻家の六人兄弟三男として生れ、地元の尋常高等小学校を卒業すると、父の家業であった大工職を修得するため、兄の和五郎氏(昭和五十六年死亡)の元で、大工見習として働き、以後米沢工業学校建築科(一年間)で学び、兄と共に近郷各地の小学校、集会所など木造建築工事に従事、元来廻家は、温厚な性格で人情深く、且つ礼儀正しいことから、地域からの依頼も厚かった。こうして人柄から和四郎氏は同地域内の木材製材業を営む斎藤家に婿養子として迎えられた。そして、

亡き父の後、木材製材を営むかたわら、建築設計業務にも精を出し、昭和三十二年西郷工務所として建築業を自営、同四十二年株式会社西郷工務店として社名を改め、現在に至っており、民間建設工事から公共工事まで幅広く行っており、昨年度工事受注高も三億八千万円と堅実な歩みで年々業績を伸ばしている。同氏の自宅前庭には、美事な松の盆栽が数百鉢、そして数十種に及ぶさつききの盆栽が、一本一本丹念に手入れされており、花が一杯となっている。同氏は、毎朝六時に起き、各種盆栽に水をやりながら朝食を済ませるのが日課。盆栽を始めたのは二十年前で、現在金井地区盆栽会長を務め、各地区で開かれる盆栽展に出品して、愛好者の目を惹きつけている。同氏は盆栽など植物を愛する心について、「何か」と尋ねると「植物には、それぞれに命があり、樹木には水も大切であるが、

今植物が何をほしがっているかをよく観察して、植物の心を知る事が大切である」と話している。また、同氏は、明治大正、昭和、平成と幾多の変動する経済を乗りこえ、家業を守り、技術を磨き、事業の伸展を図り、温い家庭のなかで孫九人(内外)を四人にも恵まれ、永年の大工技術を生かして木彫にも精魂を込めている。更に同氏は、書道、篆刻、俳画、古書画など多種の趣味を持つているが、中でも書道六段で、篆刻

はなかなかのもの、始めて十年、余韻を見ては後頭しており、作品も五十点にも及び、古木を生かして地元の小学校、寺院などに寄贈。書き抜かれた大工の彫前で、美事な作品ばかりである。同氏の約四十平方メートルの和室には、日本文化展興会からの表彰状、そして自作の作品が掲げられている。これからは楽しみながら趣味を続けていきたいと話し、ノミを片手に顔首を動かしている。写真は斎藤和四郎氏、中でも書道六段で、篆刻



金井地区盆栽会長も努める

盆栽



黒木の盆栽に……



四季折々の盆栽の姿々……



今、植物は何をほしがっているか……一つ一つ手入れされた盆栽は四季折々の風情を奏しませてもらった。



木彫と盆栽の組合せ



毎年1度は花見の姿も

